



## 学校給食にニューピオーネを提供 JAつやま津山ぶどう部会

ブドウの生産技術の向上や販売力の強化などを目指し昭和46年に発足。JAつやまに出荷する旧津山地域と加茂地域のブドウ農家37戸で構成。毎年9月に学校給食にピオーネを提供しているほか、イベントの開催や講習会の実施、先進地の視察などを行っている。



ピオーネを1粒ずつハサミで切り分ける様子



東小学校(山北)で給食のピオーネを食べる子どもたち



### 粒切りした給食用ピオーネの出荷を始めたのはいつから？

津山の子どもたちに地元特産のピオーネのおいしさを知ってもらおうと、戸島学校食育センター(戸島)稼働後の平成21年から、市立の小・中学校給食用に1粒ずつ切り分けたピオーネの出荷を始めました。昨年からは、5万円分のピオーネの給食への無償提供も行っています。

### 給食用ピオーネの出荷で苦労していることは？

実だけを房から取ると、洗浄する時に水が入って傷みやすくなるので、学校給食用のピオーネは、実に近い部分の枝を1粒ずつハサミで切り分けて出荷しています。

また、できるだけ粒の大きさに差が出ないように1粒ずつ量り、規格に合わないものは取り除きます。さらに、粒の数が不足しないよう、すべて手作業で数えています。

ピオーネは、子ども1人に付き2粒で、市内の小・中学校全体で約17,000粒になります。これを1農家約2,000粒ずつ分担します。作業には、大人2人で4～5時間かかります。

作業の大変さから、部会員の中でためらいもありましたが、子どもたちの喜ぶ顔を見たいと団結し、続けています。

### 津山の子どもたちにメッセージを

津山は昼夜の寒暖差があり、県内の他の産地に比べて色付きが良く、糖度が高いピオーネが育ちます。

子どもたちには、給食で津山の美味しいピオーネを食べたことを自慢してほしいです。ピオーネはもちろん、地域で採れる農産物に興味を持ち、たくさん食べて、元気に成長してください。

気象庁が台風の統計を開始した昭和26年(1951)から今年までの68年間で、台風が日本列島に上陸しなかった年は4回あるようです。最近では平成20年(2008)に未上陸。しかし、今年には自然災害が日本列島全体に猛威を振るっています。地震、台風、集中豪雨、加えて冬には豪雪が心配です…。(W)

色や形のきれいなから、妹たちと取り合いになったお盆の干菓子。おいしい菓子を食べて、少しいだけ大人のふりをして、苦さをこらえながら飲む抹茶とお茶をたててくれる祖母の姿。

取材先で出会った菓子が子どもの頃の温かい思い出を蘇らせてくれました。皆さんにはどんな思い出菓子がありますか。(C)

この職場に来て4年目。写真の撮影が少しはうまくなってきたと思っていたのですが、最近、納得できる写真がなかなか撮れません。表情豊かな人の様子や瞬間的な動きを狙い、良い構図で撮ることに苦労しています。11月は各種イベントが盛りたくさんなので、しっかり狙っていきなさいと思います。カチャー！(S)

